



第81号

発行所 NPO法人上田市身体障害者福祉協会 事務所 086-0012 上田市中央3-5-1 上田市ふれあい福祉センター内 発行人 堀内清 編集人 光りの友編集委員会 印刷 スズキ総合印刷

令和三年度通常総会開催される

理事長 堀内清



「年号」が令和となつて四年となりませんが、集会形式の開催は出来ませんでした。三回目の書面表決にて会員の皆様には御協力を賜りましたことを感謝申し上げます。

令和三年は、五輪・パラ輪が一年延期で二〇二二年に開催。各国の選手が我が国に来て行われ、無観客での競技でしたが皆様頑張つて下さいました。日本選手も各競技に健闘されましたことをうれしく思っています。私達協会の計画行事等は中止延期が多くりましたが厚生部

スローガン
一、愛と連携で誰でも集える身障協
一、コロナに負けず、屈せず、健康の向上を図ろう

のスポーツ、女性部つどいは実施することが出来ました。全員が参加することは出来ませんでした。各役員の方々のご協力がありましたことを心から感謝しております。

私は理事長を勤めさせて頂きこの一年頑張つて来ましたが、コロナウイルスには勝てず残念でした。

令和四年に入りまして善光寺の御開帳が一年延期で開催されました。

三年間中止となつていた県協会大会ですが、今年度第72回大会は、9月9日(金)千曲市あんずホールでの開催が決定しました。県障がい者スポーツ大会も秋に各地で行う事になりました。コロナ感染者も少なくなりましたので令和四年度は厚生部活動の日帰り旅行等も出来る

思われます。

ワクチン接種も三回目が終わりました。私も四回目ワクチン接種を7月2日(土)に打つて来ました。代表者として感染しない様に早目にお願ひし、今年最後の役と思つて行つてきました。コロナの終息を期待します。

総会で受賞されました方々には5月31日に総務部長吾妻氏と自宅に伺つて賞状等お届けしたり、担当支部長にもお願ひして届けていただきました。受賞者代表謝辞は神科第二支部の中曽根孝一様から頂きました。

各支部長様には何かとご協力を賜りますが体調には充分気を付けて頑張つて下さい。今年度より浦里支部長の小池衛様が病気のため市川久子様に変わりました。

協会は高齢化により会員数も少なくなりましたが七十年も続いています。若い方に入会していただくことが一番です。一人でも多く入会して下さい。声掛けをお願い致します。私も協会の発展のため頑張つてまいります。

コロナ禍の通常総会によせて

理事 高木津留子
新型コロナウイルスの第6波のピークは過ぎましたが、感染の減少ペースは緩やかで高止まりの状況です。

協会では、令和3年度の通常総会を感染防止の観点から昨年引き続き「書面表決による審議」とさせて頂いていただきました。

このたび、役員、会員、事務局の皆様のご協力を得まして、滞りなく書面表決による通常総会を行うことができました。御礼申し上げます。

おかげ様で、それぞれの審議議案は多数の皆様方の賛同を頂きました。詳細は本紙二面に掲載しご報告申し上げますので、よろしくお願ひ致します。

今回の書面表決実施にあたりまして、会員の皆様には、ご理解

解ご協力をいただきまして感謝申し上げます。役員、事務局の皆様には、資料の作成や配布に関する一連の煩雑な手続き、また、様々な下準備など目には見えないご苦労をおかけしまして、誠にありがとうございます。

そして、支部長さん、支部役員の皆様には各家庭を訪問しての資料お届け、後日の回収とお手数、ご足労をおかけしました。心から感謝申し上げます。

マスク着用の油断できない日々ですが、「一日に五回笑つて一日に五回感動する」と、なんと免疫がかなり上がるそうです。コロナに負けず、屈せず、健康の向上を図ろう!

元気で乗り越えてまいりましょう。皆様とお会いできる日を楽しみにしております。

令和三年度理事長表彰受賞者ご芳名

- 【本会役員・支部長・専門部長・支部役員としての受賞者】 表彰状
 - 横 沢 瑛 (西部支部)
 - 中 曾 根 孝 一 (神科第二支部)
- 【本会会員にして特に模範となり支部長の推薦による受賞者】 表彰状
 - 等々力 隆 二 (東部支部)
 - 渡 邊 悟 (東塩田支部)
 - 【重度障害の夫・妻・家族を助けて模範の受賞者】 表彰状
 - 渡 辺 桂 子 (東部支部)
 - 【本会会員にして長年本会のために寄与、援助した者】 感謝状
 - 大 柄 陽 信 (城下支部)
 - 池、田 貞 子 (西塩田支部)
 - 【本会及び会員以外にして長年本会のために寄与、援助した者】 感謝状
 - 小 池 衛 (本会前浦里支部長)

令和3年度 NPO法人 上田市身体障害者福祉協会 通常総会 議案議決結果

第1号議案	令和3年度事業報告承認の件	賛成	259票	可決
第2号議案	令和3年度会計収支決算承認の件	賛成	258票	可決
第3号議案	監査報告	賛成	258票	可決
第4号議案	令和4年度事業計画(案)の件	賛成	259票	可決
第5号議案	令和4年度会計収支予算(案)の件 スローガンについて	賛成	258票	可決

上記は、定款第28条2項・3項により、全ての議案が議決されました。
各会員の方は、第4・5号議案の(案)を消してください。

令和3年度 NPO法人 上田市身体障害者福祉協会 通常総会 書面議決結果表

令和4年7月14日現在

		議案別 書面議決結果															棄権数		意見数		備考
		第1号議案			第2号議案			第3号議案			第4号議案			第5号議案							
No.	支部名称	賛成	反対	保留	賛成	反対	保留	賛成	反対	保留	賛成	反対	保留	賛成	反対	保留					
1	東 部	16	15	0	0	14	1	0	14	1	0	15	0	0	14	1	0	1	0		
2	南 部	19	17	0	1	17	0	1	17	0	1	17	0	1	17	0	1	0	0		
3	北 部	17	12	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	5	0		
4	西 部	21	10	0	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0	11	0		
5	塩 尻	6	6	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	6	0	0	0	0		
6	城 下	26	24	0	0	24	0	0	24	0	0	24	0	0	24	0	0	2	1		
7	川 辺	13	12	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	12	0	0	1	0		
8	泉 田	13	10	0	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0	10	0	0	3	0		
9	神 川	12	9	0	1	9	0	1	9	0	1	9	0	1	9	0	1	2	1		
10	神科第一	23	18	0	0	18	0	0	18	0	0	18	0	0	18	0	0	5	0		
11	神科第二	27	20	0	0	20	0	0	20	0	0	20	0	0	20	0	0	7	0		
12	豊 殿	9	9	0	0	9	0	0	9	0	0	9	0	0	9	0	0	0	0		
13	東塩田	22	20	0	0	20	0	0	20	0	0	20	0	0	20	0	0	2	1		
14	中塩田第一	19	13	0	0	13	0	0	13	0	0	13	0	0	13	0	0	6	0		
15	中塩田第二	14	13	0	0	13	0	0	13	0	0	13	0	0	13	0	0	1	0		
16	西塩田	12	9	0	0	9	0	0	9	0	0	9	0	0	9	0	0	3	0		
17	別 所	2	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0		
18	浦 里	20	13	0	0	13	0	0	13	0	0	13	0	0	13	0	0	7	0		
19	小 泉	11	11	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	0	0		
20	室 賀	6	5	0	0	5	0	0	5	0	0	5	0	0	5	0	0	1	0		
21	その他	11	11	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	11	0	0	0	0		
小 計		319	259	0	2	258	1	2	258	1	2	259	0	2	258	1	2	58	3		

〈意見結果〉 (1) 議事に対する意見 1件
(2) その他 意見 3件

※ 上記意見は、理事会にて協議して協会の運営・活動に取り入れられるものは取り入れていきます。

受賞者より

神科第二支部
中曽根 孝一



普段、協会にはほとんど関係
しておらず恐縮しております。
さて、何を書くか考えたの
ですが、今私が関係している団
体のことを寄稿させていただきます。

現在の 上田東高校(旧小県蚕
業学校)初代校長「三吉米熊」の
偉業について顕彰しております。
明治期の蚕業教育において、当
時日本は、大変な債務国であり
ました。その債務国から債権国
脱皮を図った大きな要因の一つ
に蚕業がありました。三吉先生
がなされた功績は教育を基盤と
し蚕業界を発展させようという
試みのもと全国各地から集まっ
た子弟への教育を施し又生徒は
各地に帰郷しその技術を伝承い
たしました。現在社会の産業基
盤となった、蚕糸業界はその後
色々な形で企業形態を変えなが
ら現在に至っております。なお、
米熊の父「三吉慎蔵」は、あの
坂本龍馬を伏見寺田屋で助けた
事で有名です。(維新史の歴史
家はおおいにこの業績を評価し
ております。)

各部活動報告

総務部

部長 吾妻 博夫

コロナワクチンに挑戦するよ
うに変異をし、襲ってくるコロナ
ウイルスの為、協会の行事や活
動も制限や中止を余儀なくされ
ました。このため通常総会も、
昨年同様に書面議決により開催
させて頂きました。コロナウイ
ルス禍の中、協会の活動が停滞
しないように、感染防止を重点
に方法を考慮しながら推進して
きました。協会も身体障がい者
の多様化による協会離れ、会員
の高齢化、会員の減少、高齢化
に伴う活動会員の減少、会員の
移動手段の困窮と難問が多く、
その上にコロナ禍の長期化に伴
い各々の収益も激減しており、
厳しい状況が続いております。
幸いにもコロナウイルスの中で
の生活が少し周知され、制限の
ある中ですが活動も模索しなが
ら歩み始めました。コロナウイ
ルス感染が、昔日となるのを望
みながら、協会の行事、活動、
事業が少しでも多く出来ますよ
うに、推進していきたいと思っ
ます。一歩でも協会が前進出来
るには、会員全員の参加と行動
が不可欠です。そのためにも会
員の皆様、関係機関の皆様方の、
更なるご協力とご支援をお願い
申し上げます。

会計部

部長 小沼 絃代

今年も、コロナウイルスで会
員の方々も大変な時期をお過し
の事と思います。
残暑の季節にて、電気の使用
制限など国民のあり方の見直し
も課題となっております。
当協会の会員の減少は大変深
刻な問題であります。上田市に
於ける身体障害者手帳を持つて
いる人は年々増加傾向にあるよ
うですが、六十五才以上が多く、
大変高齢化しています。
当協会の会員数も、死亡や施
設入所等により年々減少してお
ります。「会員のメリットがな
い」といった話が聞かれますが、
会員である事がメリットと考え、
協会の行事等に参加して頂き
たいと思います。共に頑張りま
しょう。
また、会員の減少、コロナウ
イルス等の影響により、収入減
となり、厳しい状況が続いてお
ります。しかしこのような状況
でも活動を後退させることな
いようメリハリをつけ、活動を
支援できるようにしていきます。
コロナ禍、物価高、NPO事
業の減少と大変な時期ですが、
会員と共に歩める協会となるよ
う、皆様方の協力をお願い致し
ます。

広報部

副部長 小林 睦子

光の友「81号」を皆様にお届
けができますことに改めて喜びを
感じております。新型コロナの
レベルがなかなか下がらないた
め打ち合わせの会議室の使用が
しばらくできませんでした。
今号発行で81号を数えますが、
これはすごい事ではないでしょ
うか。身体障がい者協会に携さ
わっていたらだいている上田市は
じめ各機関の方々、そして会員
の皆様のご協力が何より大きな
力となつて継続されているのだ
と思います。
これからも読んで明るい気持
ちになれるような、趣味のお話
やめずらしい話題の紹介なども
してまいりたいものです。そし
て学生さんなど若い方にも、身
体障がい者協会の事をもつと



知つていただけるような機会が
あれば!! と思います。
今年梅雨が極端に短く雨量
も少なかつたです。暑さ真つ盛
りが続きますが体調管理に充分
気を配つて毎日を送りたいもの
です。

厚生副社事業部

部長 西川 洋美

新型コロナウィルス感染が全
体的に減少になつてきたと言わ
れて居りますが、まだまだ油断
が出来ません。総務・部会とし
ての行事は、理事会・総務会等
を行つて居ますが、会員集合行
事が出来ません。又最大の行事
である通常総会が会員の皆様の
協力を得ながら書面表決になり
ました。やむをえません。
厚生部では、今年からマレッ
トゴルフクラブを発足しました。
毎月一回ですが交流と親睦をは
かり情報の交換を行つていま
す。他にグラウンドゴルフもして
います。私ごとですが、5月下旬、
仲間とマレットゴルフの練習中
コース上にアカシアの花びらが
沢山降っている時に出た一句で
す。花びらで一面が真白になり、
まるで冬のように感じました。
「アカシアの花びら
降る降るマレットかな」
福祉事業部では今年も5月の
上小スポーツ大会が中止になり
ました。



又7月8月の自然運動公園
プールでの売店事業中止が決定
されました。協会としては大変
残念ですがやむを得ません。他
に秋の日帰り旅行等を考えてい
ます。コロナが収まることを
願っています。

女性部

部長 百瀬久美子



皆様お元気でしょうか。
早い梅雨明けと同時に
猛暑が続ぎ、突然の豪雨災
害、戦争、日々いろいろな
ニュースが飛び交ってい
ます。

コロナの感染もようや
く収まりかけたと思いき
や又増加傾向の兆しとの

事、しつこいウイルスに世界中
が翻弄されつばなし、いつに
なったら安心した生活がおくれ
る事やら……。

二月の活動では、つま楊枝を
使った「ミニの花飾り」を作る
事にし、参加希望者四十名を二
日に分け、実施の方向で材料、
お弁当、飲物、お菓子等を準備
し、久しぶりにお逢い出来ませ
事を楽しみにしておりました。
しかし、何と前日にコロナのレ
ベルが五になってしまい、中止
することになり、全ての物を引
き取りに来て頂くようになって
しまい、まことに残念！

ずいぶん間があいてしまった
にもかかわらず多くの方と繋
がっていた事に感謝し、又集団
での行事が出来るようになりま
したら良い案を計画します。

文芸らん

川柳

金井 真田丸 (東御市)

融けてくる

氷河の様なわだかまり

離れれば

愛しさ募る茶碗酒

千曲高校生活福祉科生徒さんが “バリアフリー調査” を実施しました

バリアフリーを意識して

生活福祉科三年 神津 美昭

私は、生活福祉科に入学するまで、バリアフリーという言葉は知っていても、生活の中であまり意識したことがありませんでした。そんな私が福祉を学ぶうちに変わっていききました。



場面に会いえました。そこは道幅が広く交通量が多い交差点でした。
ふっと、授業の中で聴いた盲導犬ユーザーさんからうかがった「信号が青になつてからかわからず困ることがある」という言葉を思い出しました。そして、ほんの少しの助けがあれば嬉しいとも仰っていました。

そこで私は、勇気を出して「信号が変わりましたよ」と、白杖を持たれた方に声を掛けました。すると、その方はホッとした様子で「青に変わりましたか?」「ありがとう」と、安全に信号を渡つて行かれました。

私にもできることがあると嬉しく感じるとともに、皆で支え合うことの大切さを実感する体験となりました。

そのきつかけとなったのが、車いすユーザーさんと一緒に実施したバリアフリー調査です。上田城周辺を調査した際、私たちが障壁だと感じすぎている場所でも、障害がある方お一人では移動が困難だったり危険だったりすると教えていただきました。そのおかげで、今ではふとした時に「車いすを利用されている方は、この狭い道は通れないかな」とか、「この道は点字ブロックがなくて、視覚に障害がある方にとって危険だな」など、様々な障害を持つ方の視点から街を見ることができるようになりました。これからも、皆でバリアフリーなまちづくりについて考えていければと思います。

ほんの小さな手助けで

生活福祉科三年 中島 朱夏

私は先日下校している時、白杖を持った方が信号で立ち尽くしている

おひせ

クラブ活動

グランドゴルフへの誘い
コロナ禍の中ですが、外での競技は可能です。どなたでも参加出来ます。ご参加お待ちしております。

- | | | |
|-------|--------|--------|
| 8月23日 | 9月6日 | 9月28日 |
| 10月4日 | 11月8日 | 11月22日 |
| 12月6日 | 12月20日 | |

時間 9時~12時
場所 市陸上競技場

※道具等は協会で用意します。
クラブ長 堀内 清

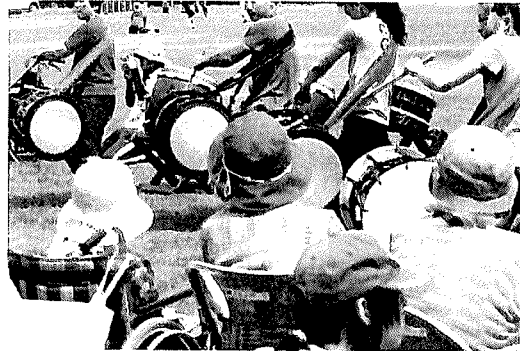
障がい者支援にかかわること

上田市福祉部 障がい者支援課長 山口明海

厚生労働省によると、障がいのある方は全国的に増加傾向にあり、また高齢化が進んでいると発表しています。
上田市における令和4年3月末の障害者手帳所持者は、9821人であり、内5195人が65歳以上の方で、割合で表すと約53%になります。

身体障害者手帳をお持ちの方のみを抽出しますと、全体は6046人であり、内4611人が65歳以上の方で、割合は約76%になります。

このように、身体に障がいがある方の高齢化がより進んでいる状況が見えてきます。では、年を重ねるとはどういうことなのでしょう。



「高齢状態」とは加齢に伴い、身体の各器官を構成している細胞数の減少や細胞そのものの働きが低下することによって生理的老化が進行します。それによって臓器機能の低下や、外部環境の変化に適応する能力が低下します。また、平常時の状態からストレスが加わったときに対応できる潜在能力（予備力）が低下し、弱った状態から元の状態に戻る回復力にも低下がみられるようになります。

しかし、この加齢による変化は、「障がいのある人」にも「障がいのない人」にも同様に訪れます。
ここで、「健康感」について考えたいと思います。障がいや病気があったとしても「自分は元気だ」と思っている人もいれば、健康そうに見えても「自分は健康でない」と思っている人もいます。「自分は元気だ」「自分は健康だ」と思える人の方が、病気の回復経過が良かったり、身体の衰えが緩やかであったりするようにです。
また、「幸福感」については、「心身の健康」「安全で豊かな環境」「自宅生活の快適さ」「感謝できる良好なつながり」「近隣住民との親しさ」「やりがいのある仕事」「地域行政への信頼」等を挙げており、自ら望む地域生活（暮らしや生きがい）の満足度が幸福感を高めるようです。
そこで、障がいや病気や高齢であっても、「健康」や「幸福」を感じることができるよう、市は「地域行政への信頼」を提供する必要があります。
「厚生労働省業務ガイド2022」によると、年齢や性別、障がいや病気のあるなしにかかわらず、多様な人々の「生きる」を厚くすることを目指しているのが「厚生労働省」の業務であり、「ひと、くらし、みらいのために」がテーマになっています。これは、現在だけでなく未来にわたって、人や暮らしを守る役割を担っているということを簡潔に表現しています。
上田市も、コロナ後の上田再構築として未来を見据えた「もつと、前へ」をテーマに、「福祉を充実し、多様性を尊重した地域共生社会を実現する」を主要項目のひとつとして掲げ、障がい者支援を行ってまいります。
実現には、市民の皆様、各種団体及び関係機関等の皆様の御理解と御協力が不可欠です。で、引続きの連携をお願いいたします。

「おおい！」と一言 大きい声で 叫んでみたい

城下支部
堀内 良明

それは平成二十四年信大病院で下咽頭ガンの手術（のどに出きるガン）私の場合、のどの裏側で一番手術の難かしい所の手術で声帯を生かす方法と、声帯を除去する方法が有り、完全にガンを除去するには声帯除去しなくてはなりません。手術時間18時間と言う長い手術。翌日先生から手術はうまくいっ

もうイヤ！内視鏡検査

ダン・タイカン

上田身障協の会員として先輩の皆さん方にご交誼いただくことになって、いつの間にか十年が経ってしまった。

その間、ふれあい広場やスポーツ大会などの活動にも参加し総会の司会までやらせてもらった。春日温泉へのバス旅行や「ろくもん」での軽井沢旅行は、とりわけ印象深い交流の場となった。

広報部員の二員として「光りの友」の編集に携われるようになったことも、障害にめげないで頑張るエネルギーをもらうことが出来てありがたいと思っている。私の障がいは、ペースメーカー

たからねと言われ有難度うと言ったが声が出ない一寸不思議に思った。ただ今は筆記しかない、先生からは身体作りが大事で毎日体力作りをと言われ今は365日の内300日位はマレットゴルフを続けています。仲間の人には大変迷惑掛けています。特に女房には大変苦勞掛けております。いやな顔もせず協力してくれて毎日感謝感謝です。ありがたいです。私も八十七才になり、あと何年続けられるか心配です。でも頑張ります。

挿入が原因なんだが、高校時代は水泳部員で毎日二キロ以上泳いできた自信から、俺は心臓と肺は強いんだと過信していたように思う。信大病院の先生に、「心不全のあなたが車を運転して上田まで帰るなどもつての外、今日、即入院です。」と、宣告された時は、ガツクリと気落ちしてしまつたものだ。そして今では「胃カメラ飲んで」「大腸内視鏡検査します」「次々と身体中を人目に晒さなければならぬハメになつてしまつた。すでに四年前、上行結腸を十五cmも切り取られてるんだよ。そろそろ「もういいよ。十分生きたよ」と言うわけには、いかないものかな？

（東塩田支部）

風船の友情64年

浦里支部長

市川 久子



昭和33年10月尼崎養護学校第一回運動会で子供達が風船を飛ばしたのです。その一人、桐本君の風船が350キロ離れた「えぼし岳」の雑木の枝にぶら

会員の声 よもやま話

さがつていた。当時小泉蚕業教師六川先生が発見、紅葉の葉を入れて送りました。尼崎では大変喜び新聞に大きくとり上げ報道されました。私達生徒会でも

尼崎養護学校の生徒と文通を計画。スタートして、私は当時四年生の三人と文通をし、お互いに仲良しになり、昭和34年春私達の関西旅行の時に大阪城で初対面。お互いに友情を誓い合つて来ました。私はこれから目標を持ちました。この出逢いを大切に一生お友達になる事、両親からも途中でやめたら「子供を失望させる」と。私は農協に勤務している時結婚。相手は私の交流す

る子供たちに理解のある人と思つていた。縁あつて専業農家への見合い結婚でしたが、やさしい家族、やさしい主人です。私は幸せを感じ家族と仲良く農業をしました。尼崎の子供を長野に招待して三人の子供達は

何回も遊びにきました。私も主人と尼崎へ遊びに行き親戚同様の交流となり、現在孫まで交流するほど仲良くしています。文通を始めて64年、上田東高校生徒会でも尼崎の子供達に毎年「りんご」を送りつづけています。友情を守り「ありがとう」。

生徒役員が変わつた時に、風船の出合いを説明して理解と友情の「ぎずな」を大切にしていました。私は18年前に日大病院で両ひざを手術、一ヶ月で退院し、坂城のびんぐしプールで「リハビリ」に筋肉をつける様に一時間位歩いています。今年で18日目になります。転ばない様に注意して活動しています。

役職は色々中心になつて年を忘れて頑張つております。人々の出逢いを大切に、長生きして今の健康に感謝、「ありがとう」。

上田へ来て50年

神科第二支部

竹内 茂子

最初は虚弱施設へ勤めました。そこは山の上なので、きのこ採

り、山菜採りをやり子供との生活は楽しかったです。施設に於ける子供は両親のいない人や身体が弱い子でした。大勢の生活でクリスマス会や誕生会等行いました。入園する子、出て行く子とりましたが、出て行った子もよく遊びに来ました。

一週間の内一日休日もあり編物教室へ通いました。園で羊がかっていて茶箱にいつぱい毛糸があつたので、園長さんにたのんで子供たちにセーター、チョッキ、手袋等を編んであげました。子供にも教えて一緒に編みました。

その後、私は上田駅前にあつた魚市場の小さいマグロ専門店に勤め事務関係の仕事をやりました。魚料理も大部教えて頂きました。

そして、そこで出逢つた今の主人と神科で魚店を開きました。仕出しや弁当作り、宴会などをやり、子供2人に手伝つてもらい家族で一緒に切り盛りし、楽しかったです。

きのこも山へよく採りに行き、砥石城へ登りました。土地もあつたので畑もつくり、ネギ、エンドウ豆、アスパラ等色々作りました。

15才頃からスキーをやつたので、冬は子供2人つれて菅平スキー場へ通い、民宿に泊つたことも良い思い出です。24才頃山形の蔵王へ遊びにも行き、片道六時間かかって楽しんで来ました。一週間遊んで来ました。

ジンギスカンが美味しかったです。コンニャクも丸いのがあり初めて山で大鍋で煮たのが美味しかったです。雪の中で食べたあの味は忘れません。スキー場もスケールが違いハンパではありませんでした。

今は朝五時半頃家を出て旧真田町、上田市内、東御市の病院へ食材を納入して居ります。土日が休日なのでぼつぼつ休みを利用して先日も菅平へワラビ採りに行き楽しんで来ました。

これからも、ゆつくりと遊びと仕事を何とかやつて行きたいと思ひます。

編集後記

会員の皆様、お元気ですか。

今年こそコロナウイルスにサヨナラ出来たかなーと思つたら、まだまだ続きますね。毎日毎日が暑さに大変な日々ですが、多少でも会員の方々と一緒に笑顔で活動が出来ることが出来てます。日々健康に、気を付け頑張らしましょうね。

本日の編集に参加し、大勢の方々の大切な原稿を讀ませて頂き、その言葉、行動と苦心、苦勞に感銘しました。たくさんの方々の新聞を讀ませて頂き、多くの方が同じ思いであることにびっくりしました。

協会全員の方々が、笑顔と健康で、大切な時を乗り越えられよう頑張らしましょうね。

小沼 紘代

会員消息 (おくやみ)

生前の協会へのご協力に
感謝申し上げます
ご冥福をお祈り申し上げます

- | | |
|------------|---------|
| 南部支部 | 杉田 清一様 |
| 神科第二支部 | 小林 利夫様 |
| | 細田 静夫様 |
| 豊殿支部 | 久保田みどり様 |
| 中塩田第一支部 | 依田寿美雄様 |
| | 城下 英代様 |
| | 上原みね子様 |
| | 山極袈裟利様 |
| | 神津 智男様 |
| | 荒井ひで子様 |
| 中塩田第二支部 | 北沢 正博様 |
| 西塩田支部 | 池田 貞子様 |
| 浦里支部 | 多田 満様 |
| 室賀支部 | 田中 重信様 |
| その他 (真田支部) | 海瀬美亀様 |

(2021年12月7日~2022年7月12日受理迄)